

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課		■担当係	生涯学習係
■評価事業名称	夏まつりみこし部会事務局			
■事業開始年度	平成13年度			
■評価事業コード	090200 - 051	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	02 社会教育の充実		
	■施策	02 いきいきとした地域社会をつくる社会教育の推進		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	みちのく芸能まつりでのイベントの一環として参加し、地域づくりに貢献する。事務局として参加者取りまとめ、説明会、当日の運営を行う。予算は「北上・みちのく芸能まつり実行委員会」から配当される。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	夏まつりみこし部会事務局	子ども会、市民、各種団体	みこし部会3回開催。参加団体募集。参加団体説明会開催。学生ボランティア募集(市内全中学校、高等学校及び専門学校へ直接訪問・依頼)。	参加団体数21団体。学生ボランティア67名参加。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	42	27	46	35	
人件費	3,128	2,253	2,755	2,302	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	3,170	2,280	2,801	2,337	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	参加団体数	24団体	23団体	22団体	21団体	子ども会と幼稚園、専門学校の合計
02	1団体当たりコスト	132,083円	99,130円	127,318円	111,286円	
03	参加者数	1416人	1370人	1364	1304	子どもと大人の合計

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

04	参加者増加率	0.109	-0.03	-0.004	-0.043	(今年度参加者数-昨年度参加者数)÷昨年度参加者数×100
05	参加者1人当たりコスト	2238円	1,664円	2,053円	1,792円	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

参加団体及び参加人数は概ね同程度であるが、参加することで地域のイベントに対する意識が強まることから、着実に将来の地域づくりを担う市民の育成に貢献している。また、中高生のボランティア活動は、他学年交流が図られ、青少年健全育成に寄与している。

問題点・課題等

少子化に伴い参加を断念せざる負えない団体が出てきている。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

人数が少なくても参加できる運営方法、内容の拡充を検討し、継続して実施する。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了